現年発生農地及び農業用施設災害補助復旧事業

3/545藤岡農地災害復旧工事　仕様書

所 在 地：神石高原町　桑木　地内

事業主体：神石高原町

特　記　仕　様　書（　個　別　事　項　）

第１章 総則

第１節　適用

１　本特記仕様書は、現年発生農地及び農業用施設災害補助復旧事業　3/545藤岡農地災害復旧工事に適用する。

２　本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。

・土木工事共通仕様書（令和８年８月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）

・特記仕様書（共通事項）（令和８年８月）広島県

※　土木工事共通仕様書、特記仕様書（共通事項）は「広島県の調達情報」に掲載している。

https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/

・その他関連規格類

第２節　工事現場の現場環境改善費

本工事は、現場環境改善及び地域連携に資する経費に関して、設計計上を行っており、実施については土木工事共通仕様書1-1-3-10 工事現場の現場環境改善費等に従うこと。

また、熱中症対策・防寒対策に要する費用は、精算時に積上げ計上することができる。なお、実施については特記仕様書（共通事項）第１章 総則 第７節 現場環境改善（熱中症対策・防寒対策）に従うこと。

第３節　熱中症対策に資する現場管理費の補正

本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事であり、実施については特記仕様書（共通事項）第１章 総則 第８節 熱中症対策に資する現場管理費の補正に従うこと。

第４節　猛暑時間の施工回避

本工事は、現場環境に応じて猛暑時間帯の現場作業を回避し、作業の開始時間や終了時間を発注者と協議し設定できる工事であり、実施に当たっては特記仕様書（共通事項）第１章 総則 第９節 猛暑時間の施工回避に従うこと。

第５節　建設副産物

本工事における建設副産物については、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。

１　再生資源利用計画及び再生資源促進計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画（５の確認結果票を含む）を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。

2　計画の掲示及び公表

受注者は、１の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。
現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。
https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm

3　実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から５年間保存しなければならない。

4　工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

5　建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成

受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。
※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

(1)　工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壌汚染対策法（平成14年法律第53号）第３条第７項又は第４条第１項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(2)　再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項

ア　当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第１項、第16条第１項、第30条第１項又は第35条第１項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。
イ　当該行為が盛土規制法第21条第１項、第27条第１項、第28条第１項又は第40条第１項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(3)　上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項

6　運搬業者への通知

受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。

7　確認結果票の掲示及び公表

受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

8　確認結果票の保管

受注者は、確認結果票を建設工事の完成後５年間保存するものとする。

9　建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。

(1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地
(2) 建設発生土を搬出先の受注者の商号、名称又は氏名
(3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地
(4) 建設発生土の搬出量
(5) 建設発生土の搬出が完了した日

10 建設発生土の搬入元への受領書の交付

受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。

11 受領書の内容確認

受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。

12 受領書の保管

受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後５年間保存するものとする。

13 建設発生土の最終搬出先までの確認

受注者は、建設発生土が再生資源利用促進計画に記載した搬出先（次の(1)から(4)のいずれかに該当する搬出先を除く。）から他の搬出先へ搬出されたときは、速やかに、当該他の搬出先への搬出に関する９（1）～（5）に関する事項を記載した書面を作成するとともに、当該書面を当該再生資源利用促進計画に係る建設工事の完成後５年間保存するものとする。建設発生土が更に他の搬出先へ搬出されたときも、同様とする。

(1) 国又は地方公共団体が管理する場所であって、受入れ完了後に当該国又は地方公共団体が受領書を交付する場合
(2) 受注者の管理下にある他の工事現場で利用するために一時堆積する場合
(3) ストックヤード運営事業者登録規定により国に登録されたストックヤード
(4) ９の受領書の土砂の利用種別が「盛土利用等」である建設発生土受入地（再搬出しないもの）

第６節 不可抗

本工 に該当する。

該当なし

第２章 材料

第１節 寒中コンクリート

当該工事における次の対象構造物は寒中コンクリートとして施工し、次のとおり取り扱うこと。

１ 対象構造物

令和8年12月１日から令和9年2月28日までの期間に施工するコンクリート構造物。
ただし、ダムコンクリート（砂防ダムを除く）、トンネル坑内、場所打ちコンクリート杭、均しコンクリートは除く。

２ 養生方法

養生方法は給熱養生を標準とし、詳細については監督職員と協議すること。

３ 打設数量の確認

対象構造物のコンクリート打設数量については、施工後、打設図等の数量確認資料を作成し監督職員へ提出すること。

第２節　クレーンの賃料

土木工事標準積算基準書（河川編・道路編）　第III編 第３章 砂防工におけるクレーン賃料は、日々回送することを想定した日極賃料を見込んでいるが、現場条件又は調達環境から日々回送することが困難な場合は、監督職員と事前に協議するものとし、必要と認められる場合は設計変更の対象とする。

第３節　大型土のう

本工事は、大型土のうを使用する工事であり、特記仕様書（共通事項）第２章 材料 第３節　大型土のう　に規定する「耐候性大型土のう積層工法」設計・施工マニュアル　については、「耐候性大型土のう積層工法」設計・施工マニュアル（第２回改訂版）に読み替えるものとする。

第３章 施工条件

第１節　工程

１　関係機関との協議

協議内容	帝釈峡漁業協同組合	施工箇所：3/545藤岡農地災害復旧工事
範囲	工事着手前に、汚水対策の協議を行うこと。	

第４章 その他

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項又は、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員の指示を受けること。

総括情報表

	PRT202610300000_金抜設計書_08-545-神石高原町災害実施-03_藤岡農地（田）	
変更回数	0	
適用単価地区	80 神石高原町	
単価適用日	00-08.10.01(0)	
諸経費体系	9 公共(011015～)	
	当世代	前世代
諸経費工種	01 ほ場整備工事	
工事費端数区分	01 千円未満切捨	
週休補正区分	00 補正なし	
施工地域・工事場所区分	05 中山間地域	
契約保証費区分	03 計上しない	
前払支出割合区分	00 補正なし	
軽油区分	00 一般軽油使用	
復興補正区分	00 補正なし	
ＩＣＴ補正区分	00 補正なし	

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					
土工	1	式			レベル１
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準以外	28	m3			00 単第 0 -0001号表
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離5.5km以下(4.5km超)	28	m3			00 単第 0 -0002号表
処分費対象額調整（直接工事費計上分） 「処分費等」の取扱いによる					
建設発生土受入費 土砂	28	m3			
敷鉄板設置撤去工	1	式			レベル１
敷鉄板設置撤去工 設置	122	m2			00 単第 0 -0003号表
敷鉄板設置撤去工 撤去	122	m2			00 単第 0 -0005号表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など		数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
	敷鉄板賃料 22×1524×3048,802kg/枚 賃貸期間4日	27	枚			00 単第　0 -0006号表
直接工事費						
運搬費						
	敷鉄板運搬費 往復 仮設材積込取卸費含む	1	式			00 単第　0 -0007号表
共通仮設費率分額						
共通仮設費計						
純工事費						
現場管理費						
工事原価						

本工事費　　内訳表

費目・工種・施工名称など	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
一般管理費率分					
一般管理費計					
＊＊工事価格計＊＊					
＊＊消費税相当額計＊＊					
＊＊請負工事費計＊＊					

施工単価表

掘削　　SPK26040001　　単第　0 -0001号表

土砂 上記以外(小規模)　　標準以外　　1　　m3　　当り

機械構成比:　21.20%　　労務構成比:　70.89%　　材料構成比:　7.91%　　市場単価構成比:　0.00%　　標準単価:　2,870.0000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 バケット容量0.13m3	21.20%		小型バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 バケット容量0.13m3		MTPC00184 MTPT00184
運転手(特殊)	70.89%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	7.91%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1　土砂 E=8　標準以外			B=5　上記以外(小規模)		

施工単価表

土砂等運搬　　SPK26040002　　単第　0 -0002号表

小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)　　DID区間無し　距離5.5km以下(4.5km超)　　1　　m3　　当り

機械構成比:　19.09%　　労務構成比:　72.09%　　材料構成比:　8.82%　　市場単価構成比:　0.00%　　標準単価:　3,876.0000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 通称2t積級	19.09%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 通称2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	72.09%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	8.82%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2　小規模 C=1　土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=26　距離5.5km以下(4.5km超)			B=6　バックホウ B容量0.13m3 D=1　DID区間無し		

施 工 単 価 表

敷鉄板設置撤去工　　単第　0 -0003号表

設置　　1000　　m2　　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
特殊作業員	1.50	人			
普通作業員	1.50	人			
機-28_バックホウ(クローラ型)運転 クレーン付2.9t吊_B容量0.8m3	1.50	日			単第　0-0004号表
諸雑費	1	式			
＊＊＊合計＊＊＊	1,000	m2			
＊＊単位当り＊＊	1	m2			
A=1　　設置					

施 工 単 価 表

機-28_バックホウ(クローラ型)運転
クレーン付2.9t吊_B容量0.8m3

単第 0 -0004号表

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
運転手(特殊)	1.00	人			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	119.00	L			
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1～3,2011,2014	1.14	供用日			
諸雑費	1	式			
＊＊単位当り＊＊	1	日			
A=19 クレーン付2.9t吊_B容量0.8m3 C=1 運転労務数量(人/日)			B=119 軽油消費量(L/日) D=1.14 機械賃料数量(供用日/日)		

施 工 単 価 表

敷鉄板設置撤去工　　単第　0 -0005号表

撤去　　1000　　m2　　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
特殊作業員	1.40	人			
普通作業員	1.40	人			
機-28_バックホウ(クローラ型)運転 クレーン付2.9t吊_B容量0.8m3	1.40	日			単第　0-0004号表
諸雑費	1	式			
＊＊＊合計＊＊＊	1,000	m2			
＊＊単位当り＊＊	1	m2			
A=2　　撤去					

施 工 単 価 表

敷鉄板賃料　　単第 0 -0006号表

22×1524×3048,802kg/枚　　賃貸期間4日　　1 枚 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(賃料)鋼板 22×1524×3048,802kg/枚 90日以内	4.000	枚・日			
(賃料)鋼板 22×1524×3048,802kg/枚 整備費	1.000	枚			
諸雑費	1	式			
＊＊単位当り＊＊	1	枚			
A=3 22×1524×3048,802kg/枚 C=4 敷鉄板賃貸期間（日）			B=1 賃料 D=2 整備費有り		

施 工 単 価 表

敷鉄板運搬費　　単第　0 -0007号表

往復　　仮設材積込取卸費含む　　1　式　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
基本運賃 運搬距離 7.4㎞ 製品長 12m以内 運搬質量 21.65t	1	式			単第　0-0008号表
往復					
仮設材積込み費（基地）	21.65	t			
仮設材積込み費（基地）	21.65	t			
＊＊単位当り＊＊	1	式			
A=7.4　運搬距離(㎞)			B=21.65　総重量(t)		

施 工 単 価 表

単第 0 -0008号表

基本運賃

運搬距離 7.4km　　製品長 12m以内 運搬質量 21.65t　　1　式　当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
基本運賃	1.000	式			
t当り基本運賃	21.650	t			
＊＊単位当り＊＊	1	式			
A=1 基本運賃 C=1 12m以内			B=7.4 運搬距離(km) D=21.65 運搬質量(t)		

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格１・規格２	単　位	数量（前回）	数量（今回）	備　　考
本工事費					
土工		式		1	レベル１
敷鉄板設置撤去工		式		1	レベル１
直接工事費					
運搬費					
共通仮設費率分額					
共通仮設費計					
純工事費					
現場管理費					
工事原価					
一般管理費率分					
一般管理費計					
＊＊工事価格計＊＊					
＊＊消費税相当額計＊＊					
＊＊請負工事費計＊＊					

特 殊 基 礎 単 価 一 覧 表

コード	名称・規格１	規格２・摘要	単　位	単　　価	特殊集計	集計区分	出現位置
W0001	建設発生土受入費 土砂		m3				